

横手の伝説をめぐるドライブコース 雄物川～大雄～大森地区ルート MAP



横手北スマートIC着 車8.5km 13分

⑤ 金勢大明神

横手市大森町字文天鏡田



いつどこで誰が建てたものか全く不明。昭和21年頃に地元の人が散乱していた金勢大明神を見つけ建て直した。参拝すると子宝に恵まると秘かに話題。

▲ 車2.8km 5分

(大森公園⑩駐車・徒歩2分)

④ ケダニ地蔵

横手市大雄字木戸ロ

(問)大雄地域課産業建設係
0182-52-3913



雄物川中流一帯は、ツツガムシ病と呼ばれる珍しい風土病があり、昭和初期頃まではそれが原因で亡くなる人も多かった。この地蔵は病が無くなることを祈願して明治に雄物川川船の船頭をしていた手賀善兵衛によって建てられた。一帯は地蔵公園として愛されている。

▲ 車5.7km 7分

③ 稲荷神社～

③ 木戸五郎兵衛稲荷神社

横手市雄物川町高畑

(問)雄物川郷土資料館
0182-22-2793



神孤が武家姿となり上洛中、途中の宿内に病人が出てその人に霊薬や路銀を与えた。武家の名を聞くと、京都伏見稲荷に行く者で、羽州仙北沼館の住人「木戸五郎兵衛」と名乗ったが、その後礼をしようこの地に来たが武家は見つからなかった。その時、伏見稲荷神社の話を思い出して、この稲荷神社にお参りをすると、その武家が明神として現れたという。

▲ 徒歩5分

② 沼館八幡神社

横手市雄物川町沼館字沼館

(問)雄物川郷土資料館
0182-22-2793



納豆発祥地の一つ。納豆は、後三年合戦時に沼の柵を源義家・清原清衡軍が攻めたが、冬の寒さに耐えかね、柵を落とすことができずに敗走する義家勢の馬の背で偶然発酵してできたとされる。

▲ 車1.0km 2分

(中央公園⑨駐車・徒歩5分)

① 首塚神社

横手市雄物川町今宿字高花

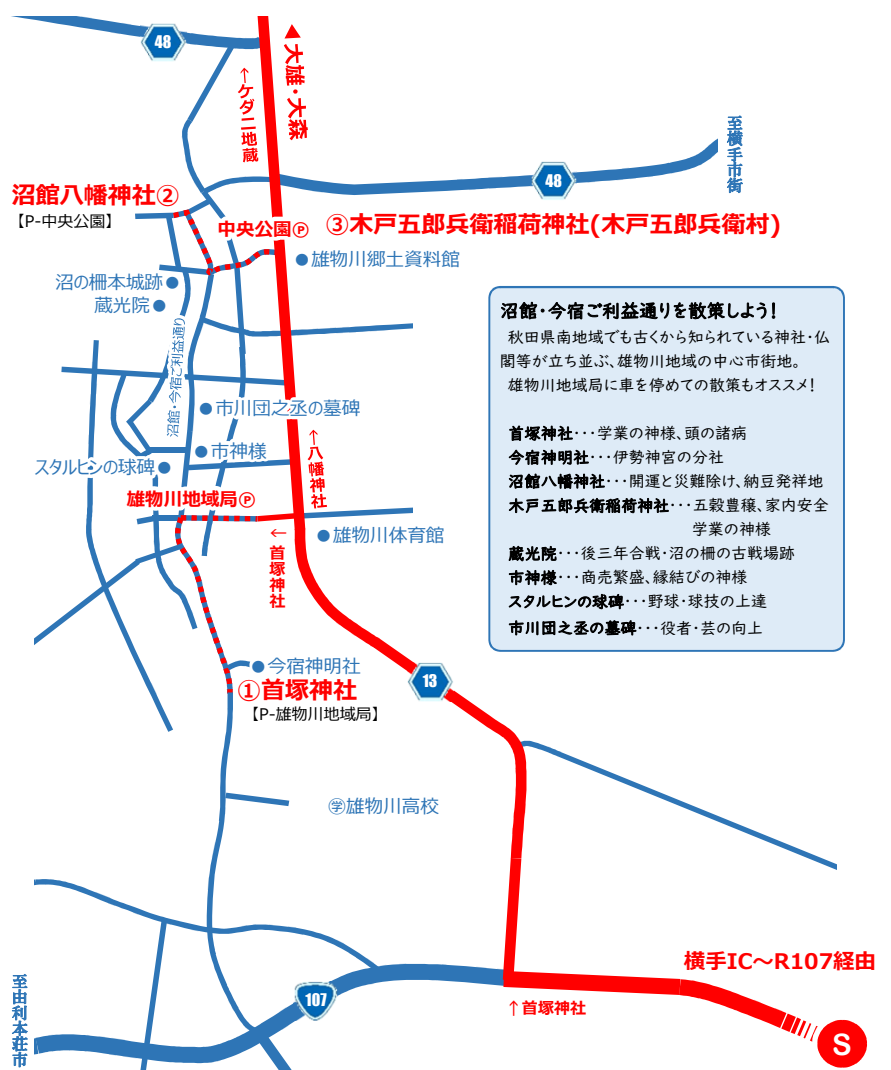
(問)雄物川地域課産業建設係
0182-22-2187



征夷大將軍・坂上田村麻呂が、東夷征伐の際に戦死者の首級1千を埋葬したことから首塚と名付けられた。その後、土地から人の首の形をした石が掘り出され、社殿に安置されている。

▲ 横手インター発 車15.5km 22分

(雄物川地域局⑨駐車・徒歩5分)



沼館・今宿ご利益通りを散策しよう!

秋田県南地域でも古くから知られている神社・仏閣等が立ち並び、雄物川地域の中心市街地。雄物川地域局に車を停めての散策もオススメ!

首塚神社…学業の神様、頭の諸病
今宿神明社…伊勢神宮の分社
沼館八幡神社…開運と災難除け、納豆発祥地
木戸五郎兵衛稲荷神社…五穀豊穡、家内安全
蔵光院…後三年合戦、沼の柵の古戦場跡
市神様…商売繁盛、縁結びの神様
スタルビンの球碑…野球・球技の上達
市川団之丞の墓碑…役者・芸の向上